

原爆展の開催手順

「原爆展」は派遣中のボランティア有志が現地の人とともに平和について考える活動です。日本から提供する、広島・長崎に関するポスターの展示やDVDの上映、ワークショップを行っています。
JICAではボランティアが開催する「原爆展」をサポートしています。
原爆展のやり方はその国の事情や実施するボランティアによって様々です。
内容は実施するボランティアの職種や得意分野にあわせ柔軟に開催されています。

開催手順

派遣国のJICA事務所に相談・承諾

・国の情勢によっては開催ができないと判断される場合もあるので、担当調整員に確認をお願いします。

開催にかかる詳細の検討（日時、場所、内容など）

- ・核保有国やそれらの国と密接な関係にある国、ウラン産出国においてはセンシティブな問題です。
- ・日本と戦争経験がある国においては、伝え方を慎重にする必要があります。
- ・隊員発意の活動となるため、配属先で開催する場合には、配属先と事前に相談してください。
- ・複数名の隊員が連携して実施することも可能です。配属先だけでなく、大学や文化施設、日本大使館の日本紹介イベントなど、より多くの人に見てもらえる場での開催も検討してください。

広島県JICAデスクにメールで連絡

相談、受付は広島県JICAデスクが一括して受け付けます。

お問い合わせ：広島県JICAデスク [✉ jica_hiroshima_desk@jica.go.jp](mailto:jica_hiroshima_desk@jica.go.jp)

cc : jicacic-jocv@jica.go.jp

担当調整員メールアドレス

申請書類送付

提供可能資料：ポスター、ハンドブック、DVDなど。詳しくは広島平和記念資料館HPから。
国際郵便での発送のため、郵送事情を考慮し、開催2か月前までにお申し込みください。



原爆展資料

原爆展資料発送

現地にて「原爆展」の開催

広島県JICAデスクに実施報告書提出

- ・展示を見た人の動画や写真などの記録をお願いします。
(肖像権の問題もあるので人物が特定される場合には同意を得て撮影してください)
- ・終了後は実施報告書とともに、外部に公開可能な写真や動画もお送りください。JICAの広報用に使います。